

論 文

慢性閉塞性肺疾患と喘息患者の禁煙指導後の 禁煙の実態と影響因子

橘 幸子*・塚崎 恵子**

* (国立山中病院)

** (金沢大学医療技術短期大学部)

Factors associated with smoking cessation among patients
with COPD or asthma after education

Sachiko Tachibana and Keiko Tsukasaki
Yamanaka National Hospital
School of Allied Medical Professions Kanazawa University

要 旨

慢性閉塞性肺疾患ならびに喘息患者の禁煙指導後の禁煙の実態と禁煙に影響する因子を明らかにするために、禁煙指導後の禁煙者と喫煙者を比較分析した。方法は、当院呼吸器外来で禁煙指導を受けた慢性閉塞性肺疾患と喘息患者に禁煙に関するアンケート調査と性格検査を行った。

その結果、以下のことが明らかとなった。

- ①慢性閉塞性肺疾患ならびに喘息患者38名中、14名(36.8%)が禁煙の個別指導後も喫煙していた。
- ②禁煙に影響する因子は明らかにならなかったが、65才未満、女性喫煙者への禁煙指導を徹底する必要性が示唆された。3割以上の方が健康への悪影響をわかっていながら、たばこへの依存があり、禁煙していなかった。